

理数の窓

平成30年度 第1号 4月16日発行

担当教員

- 1年 泉(物理), 勝部(生物)
高田, 田淵, 宮良(数学)
2年 小原(化学), 板野(養護)
横山, 牛尾, 平松富(数学)
3年 田辺(化学)
難波克, 宮永(数学)

今年度も2, 3年理数系のクラス向けに通信を発行します!

(1年生には来年度の類型選択の参考となると思うので全員に配布します。理科や数学に興味がない人も気軽な内容もありますので、読んでみて下さい。)

では、第1号は・・・

テレビでお馴染みの日本一有名な現代文講師林修先生が、数学の大切さを講演会等で力説しているのは有名な話ですが、その理由を林先生が舌を巻くほどうまく説明している京都大学ナンバーワン教官の瀧本哲史さんのお話の一部を紹介します。

皆さんが今学校で習っている『数学』も、映画ハリーポッターのハリーたちと同じ『魔法』なんです

現代の魔法というのは、科学と技術です。過去の偉人たちが発見した偉大な真理や発明が、いまの私たちの生活を支えています。例えば飛行機。150トン以上もある鉄の塊が、日本とアメリカの間の空を飛んでいくなんて、江戸時代の人が見たら『魔法だ!』とびっくりしますよね。そうした技術を支えている根本は、皆さんの多くの人が嫌いな『数学』なんです

もしも人類が三角関数を発明していなければ、飛行機を飛ばすことも船を運行することもできない。電車のモーターや車のエンジンを作ることも不可能だ。現代社会の「魔法」はここ20年でさらにスピードを上げて進化し続けている。

今から34年前に描かれた漫画のドラえもんに、『おこのみボックス』というひみつ道具が出てきます。小さな箱に『テレビになあれ』というとテレビになって、レコードで音楽を聞くことも、カメラにもなる。それってつまり、皆さんが持つてゐるスマホですよね。スマホはさらに、ゲームもできれば電話やLINEで友だちと連絡を取り合ったりもできます。わずか30数年前の『夢の道具』が、それ以上の性能で、現実になっているんです

20年前に今のスマホの隆盛を予見できた人は誰もいなかった。
テクノロジーの進歩がもたらす未来は、現在を生きる我々の想像力をきっと超えるだろう。

「そうした技術の元になっているものこそ、今、皆さんが学校で習っている数学や自然科学です。つまり今、皆さんは学校で、『魔法の元』を習っているんです」

さて皆さん質問です

ナイチンゲールという人は、何をした人ですか? もちろん看護をした人ですよね。
それは彼女の功績の半分です。残りの半分は・・・

詳細はネットで瀧本教官の講演を調べて下さい